

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 銭座小学校区



令和5年9月14日（木）、自治会や育成協、社協、民生・児童委員、地区老連など13人の皆さんにお集まりいただき、銭座小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、防災活動や子どもたちとのふれあい活動、パタンク競技会などの地域活動、スタジアムシティ開業を控えて変わりつつある地域の様子、日々の暮らしで感じていることなどをお話いただきました。

いただいたご意見

①宝町アンダーパスの冠水時の対応について

宝町アンダーパスが、大雨で冠水しても、なかなか通行規制にならないため、進入した車が立ち往生していることがある。市と警察等の関係機関との連絡体制はどのようになっているのか。

市の考え方・回答

宝町アンダーパスは、道路管理者の県が、大雨等により水位10cm以上になった場合に、道路に設置した表示板にて「通行止め」と表示するようにしており、大雨予報時は現地対応を事前に手配するなどの対応を行っています。また、県警においても、パトロールや市民からの通報に基づき現場対応を行っています。

【参考】現在、道路管理者である県がアンダーパス部への雨水の流れ込みを減らすよう、周辺道路の排水計画の一部見直しを行い、側溝などの排水施設の整備を行うこととしています。

②「てんじんくん（斜面移送システム）について

設置から約20年となるが、斜面地に住んでいる高齢者の方はこのリフトがないと生活ができない状況なので、皆さんが住んでいる限りは「てんじんくん」を継続してほしい。

市の考え方・回答

斜面移送機器(てんじんくん)につきましては、長期修繕計画を定め定期的な修繕を行うことで、機器の長寿命化を行っています。



③長崎スタジアムシティについて

長崎スタジアムシティができることで、経済効果などのプラス面もあるが、地元住民には大きな影響をもたらすのではないかと不安要素もあるので、住民目線のまちづくりをすすめてほしい。

市の考え方・回答

長崎スタジアムシティの開業に関しましては、いい面もあれば、交通渋滞の問題などご不安な要素もあると思っております。

事業を進めておられる（株）リージョナルクリエーション長崎様も、近隣地域の皆さまへの影響を考えられていますが、長崎市としても、同社と連携し不安要素の最小化に努めます。

④自治会の加入促進について

自治会加入者が年々減少しているのので、集合住宅の方々に加入の働きかけをしたり、大きな集合住宅で1つの自治会を設立してもらうなどの取組みはできないのか。

市の考え方・回答

集合住宅に対する自治会加入促進の取組みとして、平成28年3月に市、宅建協会、全日本不動産協会、保環連との4者で加入促進の協定を締結しており、例えば販売者と入居者が取り交わす重要事項説明書に自治会加入の項目を記載いただくなどご協力いただいています。

また、市としては、自治会に中高層建物（住所、建物名、戸数等）の情報提供を行い、自治会から建築主に自治会加入促進のお願いをするなど、既存自治会への加入や集合住宅での自治会新設などの支援を行っています。

そのほか、「斜面地の空き家に若い世代が入って来られるような環境づくりをしてほしい」、「稲佐山から見える夜景を維持するため斜面地で明かりを灯すための施策を考えてほしい」、「色々な行事を地域全体で盛り上げているので、今後も頑張りたい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

地域の担い手確保や交通の問題など、さまざまな分野について意見交換を行うことができました。

こういう形で、皆さんが日頃から困っていることなど要望等も含めて、しっかりニーズを吸い上げ、それを市政に反映させていきたいと思っております。



参加者からの感想

直接市長に意見や質問ができる機会があって良かったです。

銭座地区は大きく変貌を遂げています。斜面地にも光を当てる施策をしてほしいです。

皆で協力し、住み良い地域だと思っているが、問題点もまだまだあると感じました。

様々な立場でのご意見、とても勉強になりました。楽しい時間でした。

